



加賀市議会だより VOL. 82

こんにちは 議会 です。

..... 令和8年(2026年) 5月1日

特集

大聖寺実業高等学校との意見交換会

詳しくは2・3ページをご覧ください。

ピックアップ

災害用備蓄品購入事業

市道C第461号線 道路災害復旧事業

詳しくは5ページをご覧ください。

加賀市議会
Instagram



加賀市議会
Facebook



マチイロ



届け! 私たちの声

議会活性化特別委員会広報部員が取材した市内で頑張る団体の声を紹介します。

石川県加賀市立山代小学校

学校教育目標

「わたしも みんなも
幸せになる学校をつくる人になろう」



山代小学校
公式HP

秋に行われた「やましるカニまつり」では、自分たちの学習の成果を、地域の方々や観光客に向け、発信・披露しました。

6年生は、山代温泉CMソングへの人気投票、カレンダーやキーホルダー、顔出しパネルなどを作って、山代温泉の魅力を紹介しました。



- 学校がとても古いので、校舎をきれいにしてほしいな。明るく気持ちよく学べる校舎で学習したいな。
- 放課後、集中して静かに勉強したり自習したりできる「自習スペース」や「ミニ図書館」を作ってほしいな。
- バasketボールコートのある公園を作ってほしいな。
- 「萬松園 あいうえおの杜」に、子どもの遊べる楽しい遊具を作ったら、もっとたくさんの方が利用してくれるんじゃないかな。



5年生では、英語学習の発展、異文化理解教育、国際感覚を身に付けるため、「異文化理解教室」を行っています。

課題解決型探究学習&STEAM学習 ～「山代魅力アッププロジェクト」～

3年生は、「菖蒲湯祭り」の歴史や由来を学び、輪踊りや子ども神輿に参加しました。秋には、総湯入浴体験学習を行いました。地域の人々の思いなどに触れながら、ふるさとの良さや伝統・文化を学んでいます。



英語学習&異文化理解教育 ～北陸先端科学技術大学院大学留学生との交流～



菖蒲湯祭り&総湯入浴体験 ～地域の伝統・文化の担い手を育む～

議会Youtube
チャンネルは
コチラ!





＼ 高校生の声を市政に！ ／

大聖寺実業高等学校の生徒との意見交換会を開催しました！



若者の市政(議会)への関心度を高める取り組みの一環

令和8年2月18日に、議員18名が大聖寺実業高等学校を訪問し、7回目となる意見交換会を行いました。

意見交換会では、「加賀市民が幸せに生活するにはどうすればよいか」と題し、「加賀市の活性化政策」、「加賀市の福祉政策」、「加賀市の防災対策」をテーマに6つのグループに分かれて、生徒と議員が話し合いました。生徒からは、将来の加賀市への思いや市政に対する率直な感想をはじめ、若者らしい斬新な意見がたくさん出ました。



高校生からの提案をふまえ、3月定例会で議員が質問しました!(質問・答弁の概要)

介護職について

問 意見交換会の中で「介護者という仕事の人気を上げるために体験会を開く」といった提案があったが、市内高校に出向き、介護職についての理解を促進するための講座などを実施できないものか。

答 現在、介護現場での人材確保は喫緊の課題であり、高校生が将来の就職を見据えて在学中から介護職など福祉系の仕事に対する見識を深めていくことは、大変重要であると認識している。本市では、福祉人材の確保策として、就職奨励金の支給、資格取得費用の助成、介護の職場体験・見学事業などを実施しており、新たに大学等奨学金返済や転入者向けの家賃の補助メニューも検討している。介護の魅力発信のためにも、高校生が抱く介護のイメージや、どのような体験の機会を求めているのかを把握するため、大聖寺実業高校へのヒアリングを行い、加賀市介護サービス事業者協議会とともに、出前講座などを実施していく。

加賀温泉駅周辺について

問 活性化政策のグループでは、加賀温泉駅周辺に若者が集う場所として、商業施設やアミューズメントパークの実現を求める意見が出ていた。

さらに、福祉政策のグループでも、子どもからお年寄りまで、障がいのある方々など、全ての市民が誰一人取り残されることのない「安心して・楽しんで・くつろげる」場所としての複合型商業施設を求める意見が出ていた。若者に向けた施策をつくるのが難しい中、ボトムアップ市政を掲げる市長にとって、このような意見は絶対に無視してはならないと考えるが、若者の意見に対しての見解を問う。

答 若い世代の声は、加賀市の未来そのものであり、決して無視してはならない重要な意見である。加賀温泉駅周辺は市の重要なエリアで、誰もが集える「安心して・楽しんで・くつろげる」空間づくりが重要と考えている。大規模施設の整備には民間活力の導入や既存店舗との調和、交通動線などを考慮した総合的な検討が求められる。公共空間の利活用やイベントの充実など、ソフト施策との組み合わせで「人が集まる仕組み」を作ることも重要と考えている。若者の声を政策に反映させることで、「このまちに住み続けたい」、「このまちで挑戦したい」と思える加賀市を実現するため、検討を進めていく。

遊ぶ場所やどの年代も楽しめる施設について

問 夏頃に全ての工事が完了する加賀温泉駅前広場にオープン予定の加賀温泉駅全天候型広場施設を利用することで、遊ぶ場所やどの世代も楽しめる施設・コミュニティの場所になり得ると思うが、所見を問う。

答 今年の夏に完成予定の全天候型広場施設は、加賀温泉駅周辺のにぎわい創出を目的とし、市民や観光客が利用するバス・タクシーの待機スペースを兼ね備えている。指定管理者による運営で、地域コミュニティ事業やパブリックビューイングなどのイベントが提案されている。また、組み立て式のステージを活用した地域活動やイベントが可能で、世代を問わず楽しめる場所としての役割が期待されている。今後、ゆのまち加賀との連携を進め、さらににぎわいを創出するためのPRに努めていく。

防災について

問 避難所について、ペット同伴マニュアルを作成し、ペット避難所を設置すること、またペット同伴の避難訓練を実施してほしいという意見があった。これらのことは令和6年能登半島地震を教訓として、今後必須であると考えているが、所見を問う。

答 災害発生時、行政の支援はまず人命救助が基本であり、ペットに対する支援は困難となることが想定されるため、飼い主には普段からペットと一緒に避難できる準備を整えておくことが求められる。ペットは「家族の一員」として、避難所にペット同伴で避難することが基本であるため、「ペット同伴マニュアル」の作成について、今後、他自治体の事例を参考に進めたい。

ペット避難所の設置については、令和6年能登半島地震の際にペット同伴で避難者を受け入れた実績のある旅館と調整を始めている。また、ペット同伴の避難訓練については、市総合防災訓練での実施を企画したい。なお、避難所のペット専用スペースは屋外を想定している。

意見交換会での意見・提案を抜粋して紹介！

- ・片山津温泉の森林散策、星空観察、雪遊びを組み合わせた観光イベントを開く。
- ・移動式コンビニの導入。
- ・若者に寄り添ったイベントを開く（コミックマーケット、コスプレイベントなど）。
- ・生徒の登下校の時間帯に合わせてバス運賃を減額する。
- ・空き家を活用した低価格の住宅や交流スペースを増やす（シェアハウスなど）。
- ・壁や皿を九谷焼の柄に、布類を加賀五彩の色にした施設をつくる（のれんに凧子染めなど）。
- ・高校でも給食を食べられるようにする。
- ・IT系の大学を誘致し、学生を集める。
- ・SNSやアプリを活用し、災害情報や避難情報をリアルタイムで共有できるようにする。など



高校生らしい意見が様々な分野・角度から提案されました。大聖寺実業高等学校の皆さま、ありがとうございました！

令和8年 1月臨時会報告

会期●1月29日(木)

令和8年1月臨時会で審議した市長提出議案について、**全議案とも全会一致で原案どおり承認・可決されました。**
全議案等の内容は、加賀市議会ホームページをご覧ください。

市長提出議案

●報告案件…………… 2件 ●予算案件…………… 2件

令和8年 3月定例会の概要

会期●2月27日(金)
～3月19日(木)

令和8年3月定例会で審議した市長提出議案について、**全議案とも全会一致で原案どおり可決されました。**
全議案等の内容は、加賀市議会ホームページをご覧ください。

市長提出議案

●予算案件……………14件
●条例案件……………15件
●その他案件……………3件
議会提出議案……………6件

※各議案については、加賀市議会ホームページをご覧ください。



議会提出議案の提案理由説明

令和8年3月定例会の議会提出議案

※各議案の内容は、要約されています。

議会提出議案

全会一致で可決 加賀市議会委員会条例の一部を改正する条例

「部」の再編に伴い常任委員会の所管を見直すとともに、委員の任期に関する規定を整理し、複数委員会への所属解釈を改めるなど、任期の取扱いを明確化するため、所要の改正を行う。

全会一致で可決 加賀市市民主役条例の一部を改正する条例

「総合計画」について、変化の激しい時代に必ずしも有効とは言えない状況を踏まえ、策定義務を見直し、任意の策定とすることについての条例改正を行う。

全会一致で可決 北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進することを求める決議

北朝鮮による日本人拉致問題は国民の生命と安全に関わる最重要課題であり、風化させてはならない。特に若年層への理解促進が重要であることから、広報啓発の推進と取り組みの充実を図るよう国に対し強く要望するもの。

全会一致で可決 重度障がい者の地域生活を支える制度の充実を求める意見書

障がい者施策の法整備が進み「共生社会」の実現に向けた進展が見られる一方、重度障がい者の生活は家族の介護に依存しており、支援体制は十分とは言えない。安心して地域生活を送れるよう、グループホームの整備促進や移動・居宅介護の制度見直しと財政支援の強化を国に対し強く要望するもの。

全会一致で可決 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

自然災害が頻発し、特に南海トラフ地震などの巨大災害が懸念される中、国は防災庁の設置を進めている。災害に強い国づくりには、地方自治体や住民、民間・ボランティアとの連携が不可欠であることから、国に対し、国民の生命と生活を守るための必要な対策を速やかに講じるよう強く要望するもの。

全会一致で可決 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書

太陽光発電設備の普及が進む一方、導入から相当の年数が経過し、パネルの寿命に伴う大量の廃棄やリサイクルの課題が顕在化している。不法投棄や不適切処理への懸念もあることから、適正な処理と資源循環の確保に向け、制度整備や支援の強化など必要な措置を講じるよう国に対し強く要望するもの。

「議会が提出する意見書とは？」

意見書とは、地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめた文書のことです。議会はこうした意見書を、国会や関係行政庁に提出することができます。意見書には法的拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として尊重されます。

質疑・一般質問

市政を問う。



3月10日、11日の2日間にわたり、代表質問3人、個人質問10人が質問しました。

代表質問

会派昂志会

稲垣 清也 議員 …… P 6

会派ビリーブ加賀

林 茂信 議員 …… P 6

会派つなぐ加賀

林 俊昭 議員 …… P 7

個人質問

高橋菜見子 議員 …… P 7

福永 哲也 議員 …… P 8

南出 貞子 議員 …… P 8

東野 真樹 議員 …… P 8

上野 清隆 議員 …… P 9

植木 陽祐 議員 …… P 9

若林 高 議員 …… P 9

辰川 志郎 議員 …… P10

荒谷 啓一 議員 …… P10

中谷 喜英 議員 …… P10

ここで紹介している質問・答弁は、それぞれの内容を要約したものです。

なお、会議録は、議会ホームページから閲覧できます。

また、当日の質疑・一般質問の映像は加賀市議会YouTubeチャンネルから視聴できます。

- ・議会ホームページ <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/gikai.html>
- ・議会Youtubeチャンネル https://www.youtube.com/channel/UCtRm_TmFaD_OAu3BHZTETOOQ

議会
ホームページ



議会Youtube
チャンネル



ピックアップ!

災害用備蓄品購入事業（事業費4,455万円）

令和7年5月に公表された石川県地震被害想定での避難所への避難者（約24,000人）が3日間過ごすために必要な物資を備蓄するため、既に確保している初日分を除く残り2日分のうち、2日目の物資を追加で購入し、災害時に円滑に避難者に供給できるようにする。3日目は今後備蓄する予定。

3日分確保する備蓄品

液体ミルク、使い捨て哺乳瓶、飲料水、アルファ米、携帯トイレ



アルファ米



保存水



携帯トイレ

市道C第461号線 道路災害復旧事業（総事業費3億3,095万5,000円（うち令和8年度事業費2億9,680万円））

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、市道C第461号線（柴山町地内）が被災したため、災害復旧工事を行い、道路交通の安全を図る。（事業年度 令和6年度～令和8年度）



事業イメージ

会派昂志会
代表 質問

加賀市の水道ライフラインは大丈夫か？

稲垣 いながき
清也 しんや
議員



問 令和8年2月10日に手取川を水源とする県水の供給停止事案が発生した。本市は県水と九谷ダムを水源とする自己水の2系統を有しているが、どちらか1系統が停止した場合の供給体制について問う。

答 県水が停止した場合、配水池の貯留水により概ね4日程度は全域に給水が可能であるが、供給停止が長期化した場合には、一部地域で断水の可能性が生じる。一方、自己水が停止した場合、現状では、山中地区へは送水することができない。長期化する場合には、山中地区は給水車による応急給水を実施することになる。今後は県水を山中地区へも送水ができるよう検討を進めていく。
(上下水道部長)



議員のコメント
有事の際には市民がパニックにならないように、わかりやすく正確な情報提供を。

会派ビリーフ加賀
代表 質問

将来に向けた挑戦する姿勢を示すべき！

林 はらじ
茂信 しげのぶ
議員



問 将来への投資の継続性についてどのように考えているのか。

答 本市がこれまで日本マイクロソフト株式会社や株式会社JALエンジニアリングをはじめとする世界的企業と築いてきたパートナーシップや人材育成の取り組みは、将来の産業集積や税収基盤に直結する重要な「未来への投資」であり、本市の重要な施策である。

令和8年度当初予算編成においては、投資の抑制ではなく、投資を続けるための「体力を蓄えるプロセス」として、財政基盤の構築を重要視した。目先の基金残高確保に捉われるのではなく、将来にわたって投資し続けられる「体力」を維持することが、本市の未来を切り開く基盤と考えている。(市長)

民間の経営力に再生を託すことを検討してはどうか。

答 和泉市立総合医療センターの事例については、全国組織である指定管理者のネットワークを活かして医療人材の確保およびコスト削減を行い、経営再建を果たした成功モデルとして認識している。現在の大学からの医師派遣の継続や、現行の病院職員の身分の取扱いなど、解決すべき課題は多い。まずは、経営の健全化に向けた取り組みを一つ一つ積み上げ、赤字幅の圧縮に注力していく。運営方法については、全国の成功事例などを引き続き、研究、検討していきたい。
(医療センター管理部長)



議員のコメント
既成概念を超えて民間の活力の導入によって再生を目指すことを検討すべき。

他の質問
「加賀市の魅力の磨き上げ」ほか

問 令和8年度の当初予算を「準骨格予算」とした理由を問う。

答 令和8年度当初予算では、「市民生活に不可欠なサービス」を最優先としつつ、「教育ビジョン推進事業」や「伝統工芸品海外等新規販路獲得事業」などの本市の強みを伸ばす政策的事業も計上しており、実態は1年を見越した「通年予算」である。あえて「準骨格」と表現したのは、現在進めている再生プロジェクトの結果を踏まえて補正予算を計上していく事業もあることから、通常の通年予算とは一線を画すという意味を込めたものである。(市長)

当初予算 補正予算



他の質問

副市長の所信、来年度の組織再編、財政調整基金、市内高校の出願状況と本市の魅力向上策、未来型商業エリア、今年度の除雪対応

城下町大聖寺の再生を!!

会派つなぐ加賀
代表質問

林 俊昭 議員



問 歴史的街なみに、錦城小学校のグラウンドやコンクリートの建物は似合わない。

また、旧京達幼稚園の建物は、老朽化で廃墟感すら漂っており、歴史的街なみにふさわしい景観づくりが必要ではないか。

答 錦城小学校は鉄筋コンクリート造の標準設計で建てられており、歴史的街なみになじみづらいが、教育活動を継続しながら意匠面で変更を加えることは困難で、今後の建て替えなどの検討の際に配慮したい。

(教育委員会事務局長)

旧京達幼稚園は景観面で課題があり、児童発達支援体制検討事業で「こども育成相談センター」の移設を検討し、移転後の跡地は、歴史的風致維持向上計画の重点区域らしい景観形成に配慮していくことが重要である。

(市民健康部長)

問 歴史民俗資料は市民の共有財産であり、市民の目に触れて光り輝く。新たな歴史民俗資料館の設置は急務で、「加賀市の魅力

の磨き上げ」には最も必要である。江沼神社庭園と錦城山一帯に新たな資料館を設置することで、一層光り輝くものになるのではないか。

答 現在の歴史的風致維持向上計画においては、歴史民俗資料館の建設は位置づけていないため、現段階では実現は困難だが、市民が郷土の歴史を学ぶことは価値があり、既存施設の活用も含めて検討を開始しており、スピード感を持って進めたい。(教育委員会事務局長)



▲歴史民俗資料館

議員のひと言
「大聖寺十萬石文化」を磨き上げることで、暮らす人にも訪れる人にも、癒しと安らぎをもたらすのではないか。

他の質問

令和8年度当初予算案、令和7年度の決算見込み、九谷焼と山中漆器の振興策 ほか

個人質問 就学に向けた育ちを どう支える?

高橋 菜見子 議員



問 5歳児健診の導入によって、就学に向けた行政支援や家庭での生活改善を早期に促し、現行の就学時健診をより簡潔なものにすることができるとは、これは学校・家庭・子どもにとっての幸せにつながる。5歳児健診導入の方向性を問う。

答 5歳児は言語理解や社会性が発達し、幼児期の完成期を迎える重要な時期である。この時期に、情緒・行動面や生活習慣の確認、小児科医の診察、専門相談などを行うことで、発達特性に応じた早期支援や関係機関との連携、家庭での生活改善につながり、親子が安心して就学を迎えることができる。本市では令和8年度に、小児科医や保育・教育関係者、児童発達支援関係者などによる検討会を設置し、実施体制や健診後のフォロー体制の検討を行い、導入は令和9年度を目指す。(市民健康部長)



議員のひと言
子どもに関わる方々は、5歳児健診を待ち望んでいる。導入に向けた検討会に期待する。

他の質問

「子供に幸福、県ナンバーワンの教育都市の実現」、加賀市版RE100の推進ほか



個人質問

水道管路の耐震化事業について



福永 哲也 議員

問 漏水の主な原因となっている老朽水道管の更新は、安心・安全な市民生活を支える社会インフラの基幹整備であり、水道水の安定供給を将来にわたり維持していくためには、計画的かつ着実な管路の更新が不可欠である。水道事故の防止の観点からも、耐震性を備えた水道管への更新を一層加速させることが重要であるため、水道管耐震化の進捗状況と今後の整備計画について示せ。

答 現在の管路の多くは、40年以上前の人口増加期に整備されたものであり、水道管路耐震化事業については、老朽化した管路の更新にあわせ、計画的に耐震化を進めている。しかし、人口減少社会においては、当時の管径が過大となっている箇所があり、そのため更新時には、現在の水道需要の予測に基づいた、管径の縮小化をあわせて実施している。進捗状況は、令和6年度末時点における耐震適合率が、39.5%となっている。今後の整備計画は、引き続き老朽管の更新にあわせた耐震化を推進していく。(上下水道部長)



議員のひとこと

全国で老朽化した水道管の漏水事故などが散見されるようになった。事故を未然に防止するため、老朽化した水道管の耐震化の早期実施を！

他の質問

専門人材の確保と職員採用、市の組織再編による市民サービスへの影響 ほか

個人質問

危機対策部設置の内容は？



南出 直子 議員

問 今回の部設置については時期的にも良い方向ではないかと感じている。市主催の防災訓練や各地区などへの研修だけでなく、市民の安心・安全を確保する「先を見据えた」命を守る部としての事業内容を示せ。

答 「医療福祉・交通・防災の質を高める」ために設置するものであり、明確な司令塔機能を確立して迅速かつ円滑な対応を実現していく。具体的には、市主催の総合防災訓練が形だけのものにならないように見直すとともに、「自らの命は自らが守る」という意識を持つことが重要であるとの観点から、地域が主体となって企画運営を行う防災訓練に対する費用の助成を検討していく。さらに、今後は近隣のあわら市と合同防災訓練の実施を検討していく。また、避難生活時に最も重要視されているトイレ対策についても、トイレカリーの導入を検討していく。(市長)



議員のひとこと

新しい部の周知徹底を！

他の質問

国際女性デーの取組 ほか

個人質問

飼い主のいない雌猫の不妊手術の助成額拡充が決定！



東野 真樹 議員

問 飼い主のいない猫に対しての不妊手術の助成額を増額し、ボランティアの負担軽減を図ることだが、その事業内容を示せ。また、より多くの方に知ってもらうための周知方法も問う。

答 令和7年度までは雌猫の不妊手術の助成単価を5千円としていたが、令和8年度からは、雌猫の不妊手術1件につき助成単価を4千円増額し9千円にする。雄猫については、これまでどおり去勢手術1件につき4千円を助成する。これにより、一部の市内動物病院では、手術に係る自己負担額が千円程度となり、利用者の負担軽減を図ることができると。また、利用件数についても前年度の1.4倍(雄80頭・雌90頭)を見込んでいく。周知については、広報かが、市公式LINE、イベント、利用資格確認の申請や更新の案内の中などでより多くの方に知ってもらえるよう取り組んで行く。(産業振興部長)



議員のひとこと

地域を良くするために頑張っているボランティアの方々への支援は大切！

他の質問

財政強化、教育ビジョン推進事業

個人質問

歴史的風致維持向上のために、ぜひ、専門部局の設置を！



上野 清隆 議員

問 歴史的風致維持向上計画体制整備について、複数の部局にまたがる横断的な計画であるため、専門部局を設置し一元的に取り組む必要があると考えるが、その体制整備について問う。

答 歴史的風致維持向上には多様な専門分野の連携が不可欠であり、他の自治体において専門部局を設置している事例も承知している。本市では、これまでも、他分野や多職種職員の連携が必要な事業を実施する際は、部局横断的な体制を構築しながら限られた人員の中で事業を実施してきた。専門部局を新設するだけの人材確保は困難な状況であることを考慮し、今後も部局横断的な体制により、各職員が専門性を十分に発揮し、円滑に計画が推進できるように取り組んでいく。



▲大聖寺城跡

議員の
ひと言

第2期計画と専門部局はセットで進めるべきでは？

他の
質問

児童発達支援体制検討事業、歴史民俗収蔵庫資料移設事業、坂網猫、部活動の在り方改革

個人質問

シェアキッチンを導入してチャレンジしやすい加賀市に！



植木 陽祐 議員

問 農産物の一次産品や飲食店が商品開発しやすい環境づくりとして、シェアキッチンをつくることで、意欲ある人材育成と確保、そして商品開発を促すことができる、チャレンジしやすいまちがつけれると考えるが、所見を問う。

答 新商品の開発は新たな市場獲得につながるため、商品開発拠点としてシェアキッチンがあることでチャレンジしやすい環境づくりとなると考える。試行錯誤の段階で設備があることは、初期投資を行うリスク軽減にもつながり、大変重要である。希望される声が多数あるようであれば、検討していきたい。また、商品開発だけでなく、継続して販売していくにはどうすれば良いのかという点も、事業者と共に考え、各種団体や金融機関と連携し、伴走型の支援をしていきたいと考えている。



議員の
ひと言

ハード面は行政が投資し、ソフト面は民間がチャレンジしていく。それぞれが得意分野を生かして、まちを盛り上げましょう！

他の
質問

加賀市再生プロジェクト検討会の今後の在り方及びタウンミーティングとの接続、市管轄組織の人事機能の強化等 ほか

個人質問

県内他市でのPFAS検出を踏まえて



若林 高 議員

問 白山市の化学メーカーの敷地内にある地下水から指針値を超えるPFASが検出され、国の指針値の2000倍を超えており、白山市内の住民の不安が高まっている。本市は以前の答弁で「市内企業の取り扱い状況は把握していない」としたが、市民の安全を守るため白山市の事例を踏まえて状況を把握すべきではないか。

答 公共用水域や地下水の水質調査・規制は、法律に基づき県が主導しており、これまで本市で指針値を超える地点は確認されていない。県によれば、対象事業所の特定や処理状況の把握は困難との回答を得ている。指針値は一生涯飲用しても健康に影響がないとされる値だが、地下水利用者は不安を覚えたのではないか。本市としては、市民の不安払拭に向け、県に対して調査などの対応を求めていく。(市長)



議員の
ひと言

県内他市で高い検出値が出ているのだから、加賀市内企業の取り扱い状況の把握は必要だろう。

他の
質問

クリアランス金属の再利用、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術助成事業 ほか

個人質問

辰川 志郎 議員
たづめ しまる

九谷磁器窯跡の整備をどうする?



問 山中温泉九谷町で発掘された窯跡は、紛れもなく九谷焼発祥の地であることを証明するものであるが、発掘されてからの保存方法や形状は不評で、十数年以上経つてもいまだに公開されていない。これからは、市内外に発信できる立派な施設として、早急に復元すべきと考えるが、所見を問う。

答 加賀市としても、九谷焼発祥の地である九谷磁器窯跡を市内外に発信していくべきと考えている。今後、整備再開に向けた普及啓発事業などを継続し、市の財政状況や実施体制の確保を踏まえながら、可能なところから取り組む。(教育長)



▲九谷磁器窯跡立体模型

議員のひと言

九谷磁器窯跡の整備はこれまで何度も述べてきた。現在の保存方法は明らかに当時の行政の責任であり、恥ずべきであると考え。失敗は失敗として認めて市内外に広く資源として活用できるように施設にやり直すべきである。

他の質問

伝統産業の振興、新たな農業人材による産地活性化事業、歴史的風致維持向上計画整備事業 ほか

個人質問

荒谷 啓一 議員
あらたに けいいち

河南小学校など学校の老木・巨木を整備せよ



問 河南小学校では、校内樹木の老木・巨木化による対応に大変苦慮している。ほか市内13校(特に錦城・片山津中学校区)でも、学校や保護者だけでは対応できない深刻な状況になっている。小・中学校の施設整備と同様に、樹木環境の整備が必要と考えるが、所見を問う。

答 校舎や設備などの施設整備とあわせ、学校現場と密に連携を図りながら、限られた予算の中で緊急性や危険度、周囲への影響などを見極め、優先順位をつけて整備を推進し、子どもたちが安全・安心かつ快適な環境で学べるよう最善を尽くしていく。(教育委員会事務局長)



▲河南小学校の老木

議員のひと言

学校の空調設備や洋式トイレなどの整備と同様に進めてほしい。

他の質問

市政運営の基本的姿勢、人口減少対策の位置づけ、防災、山中球場周辺整備事業、部活動の在り方改革

個人質問

中谷 喜英 議員
なかにや よしひで

市長自身の「問題意識(諮問事項)」の欠如ではないか



問 加賀市再生プロジェクト検討会に対し、市長は具体的にどの事業を「廃止・縮小」の候補として諮問したのか。単に「市民の声を聞く」という姿勢はリーダーシップの放棄である。市長としての哲学や各種事業の優先順位がまま「検討委員会」という「隠れ蓑」を利用して嫌われ役を民間人に押しつけているだけではないか。

答 昨年12月から開催している「加賀市再生プロジェクト検討会」へは、公約の円滑かつ効果的な推進を図るために必要な事項について、検討していただくことも諮問している。委員の皆様には、事業の実現可能性・優先順位、進め方などを議論いただき、専門的かつ広範囲な視点から知見をいただくものである。検討会は現在も継続中であり、答申はいただけていないが、事業の廃止や縮小について答申いただくものではない。(政策企画部長)



議員のひと言

市長ならば、市をどのようにしたいのかが明確に、具体的に示すべき。

他の質問

予算主義原則(公会計の特質)の理解、継続事業の法的安定性と信頼保護、加賀市の未来に対するビジョンの不在 ほか

常任委員会・予算決算委員会分科会の主な審査内容

3月12日・16日に2常任委員会・予算決算委員会2分科会が開かれ、それぞれに付託・分担された議案やその他の関連事項について審査しました。ここでは、その一部を紹介しています。

総務経済 委員会(分科会)

付託案件 10件
分担案件 7件

- | | |
|------|-----------|
| 委員長 | 東野 真樹 |
| 副委員長 | 上野 清隆 |
| 委員 | 植木 陽祐 |
| | 一色 眞一(次席) |
| | 上田 朋和 |
| | 辰川 志郎 |
| | 稲垣 清也 |
| | 中谷 喜英 |
| | 林 俊昭 |

問 議案第3号 令和8年度加賀市一般会計予算について、乗合タクシー運行事業に関して、事業の改善内容および定期券の予算への反映状況を示せ。

答 電話予約が殺到する平日の午前中に、特に電話がつながりにくいとの意見があることを受けて、オペレーターを2名体制にし、対応を強化していく。また、今年度の定期券の実証事業により、一定数の利用者の増加が確認されたことから、来年度以降の本格運用に向けて進めていきたい。予算については、定期券発行における追加の費用は特段からないことから、最大車両数8台分の予算を計上している。



問 議案第3号 令和8年度加賀市一般会計予算について、創業希望者相談支援情報発信事業に関して、事業の具体的な内容を示せ。

答 本事業は、「加賀未来サロン」に創業支援に関する相談事業を委託しており、創業希望者に対してターゲット設定やプロモーション、仕入れなどの基礎的支援を行うとともに、創業後も自立できるまで継続的に相談支援を行う事業である。

教育民生 委員会(分科会)

付託案件 8件
分担案件 9件

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 南出 貞子 |
| 副委員長 | 荒谷 啓一 |
| 委員 | 高橋菜見子 |
| | 福永 哲也 |
| | 若林 高 |
| | 中川 敬雄 |
| | 林 直史 |
| | 林 茂信 |

問 議案第3号 令和8年度加賀市一般会計予算について、水泳授業業務委託費に関して、指導者数などの詳細や負担軽減を含めた教員の指導体制について示せ。

答 3名の指導者が約35名の生徒を3グループに分けて指導する予定である。また、成績の評価および見守りは教員が行う必要があるため、最低2名の教員が必要であり、特別な配慮が必要な生徒に関しては、教員を増員して対応する。

問 議案第9号 令和8年度加賀市病院事業会計予算に関して、加賀市医療センターにおける赤字が問題となっている中で、診療報酬改定等による収益改善ほどの程度を見込んでいるのかを示せ。

答 現在試算しているところであるため、具体的な数字を示すことはできないが、救急搬送受入れに応じた加算が追加されることから、増収を期待している。また、加賀市医療センターは加賀市のほとんどの救急患者を受け入れている救急医療機関であるため、現状の医療資源は確保した上で、経営改善に向けた検討を進めていく。

※委員からは、今後も収益状況の改善に向けた取組を進め、赤字の縮減に努めてほしいとの意見があった。

総務経済 委員会

◎東野／○上野／植木／一色／上田
辰川／稲垣／中谷／林(俊)
◎委員長 ○副委員長

加賀市税条例の一部を改正する条例の専決処分、委員会の調査研究課題などについて協議しました。

※1月8日、2月12日、3月12日に委員会が、1月8日、2月12日に委員協議会が開かれました。(1月8日の委員会および委員協議会は林(俊)委員が、3月12日の委員会は一色委員が欠席。そのほかの委員会および委員協議会は全ての委員が出席)

教育民生 委員会

◎南出／○荒谷／高橋／福永／若林
中川／林(直)／林(茂)
◎委員長 ○副委員長

山中温泉ぬくもり診療所の加賀市病院事業への編入、加賀市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分などについて協議しました。

※1月9日、2月13日、3月16日に委員会が、1月9日、2月13日に委員協議会が開かれました。(1月9日の委員会および委員協議会は林(直)委員が欠席。そのほかの委員会および委員協議会は全ての委員が出席)

議会運営 委員会

◎稲垣／○南出／若林／上田／中谷／林(直)／林(茂) ◎委員長 ○副委員長

1月臨時会、全員協議会、議会活性化特別委員会での協議結果などについて協議しました。

※1月21日、1月29日、2月20日、2月27日、3月5日、3月19日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)

基地対策 特別委員会

◎林(茂)／○稲垣／植木／福永／荒谷／辰川 ◎委員長 ○副委員長

小松基地周辺の騒音区域、小松基地の概要およびF-35Aの配備などについて当局より説明を受けました。

※1月21日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)

委員会等活動報告 行政視察報告

加賀市議会では、いくつかの委員会を設けて、市長から提案された議案審査のほか、毎月会議を開催し、各委員会が定めたテーマの調査・研究を進めています。ここでは、直近の各委員会の取り組みを紹介します。

行政視察報告

2月16日から17日にかけて、茨城県小美玉市および航空自衛隊百里基地を視察してきました。

茨城県小美玉市 ～基地対策に関する施策の現状について～

基地所在地である小美玉市では、基地と地域との調和を図るための防衛施設周辺対策事業を進めており、主に公共施設や道路整備等を実施しているとのことでした。また、防衛省からの補助金を財源とした施策として、航空機騒音の影響によりテレビの音声が聴き取りにくい地域（騒音対策区域）に対し、NHK受信料の一部を助成しているそうです。基地周辺住民は、周辺住民整備協議会を組織し、小美玉市基地・空港対策課を通じて、北関東防衛局へ環境整備に関する要望書を提出しているとのことでした。

航空自衛隊百里基地 ～基地周辺自治体との関係について～

基地からは、業務における安全確保に努めていること、万一の事故などに備えて連絡体制を整備するとともに、航空祭などの広報活動を実施しているとの説明を受けました。基地内部の見学において、実際の機体が離陸する様子を見学し、小松基地で使用しているものとは異なるものの、その音量は航空機が見えなくなっても、音だけが遠くから聞こえるほど大きく、騒音対策の重要性を再確認したところです。



▲航空自衛隊百里基地

公共施設
マネジメント
特別委員会

◎中谷/○荒谷/高橋/一色/東野/南出/辰川/稲垣/林(茂) ◎委員長 ○副委員長

加賀市公共施設マネジメント基本方針について当局より説明を受けました。

※1月8日、2月12日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)

行政視察報告

2月2日から3日にかけて、愛知県弥富市および碧南市を視察してきました。

愛知県弥富市 ～小学校の統合について～

弥富市では、児童数減少に対応するため、児童数100人未満の小学校4校を統合し、令和10年4月に新校を開校する予定です。既存校舎の改修・増築によりコストと工期を抑える一方、水害対策としてかさ上げや止水板を整備するとのことでした。また、スクールバスを導入することとし、保護者参加の検討も行ったとのことでした。

少子化という共通の課題に対し、教育環境の質の維持を目的に規模の適正化を進めていく点について、大変参考になりました。



▲愛知県弥富市

愛知県碧南市 ～保育園の統合について～

碧南市では、同一小学校区内にある公立の幼稚園と保育園を統合し、令和10年度に民間の認定こども園を開園する計画が進められています。

この計画に至った背景には、施設の老朽化、園児数の減少、保育ニーズの増加などが挙げられます。

また、民間で整備する場合は、国・県の補助金の対象となることから、民間による整備を進める方針となりました。

施設に関しては、碧南市が南海トラフ地震の被害想定区域に含まれることから、防災対策が不可欠であり、地域の方の一時避難所としても活用できるような施設を整備するとのことでした。

施設の老朽化や園児数の減少といった状況は本市と共通しており、本市の保育園の統廃合を検討する上で、大変参考になりました。

不登校・ひきこもり特別委員会

◎上田/○上野/植木/福永/若林/中川/林(直)/林(俊) ◎委員長 ○副委員長

ひきこもり支援、不登校の現状と取り組みなどについて当局より説明を受けました。

※1月9日、2月13日に委員会が開かれました。また、2月13日には現地視察を行いました。
(1月9日の委員会は、林(直)委員、林(俊)委員が欠席。そのほかの委員会および現地視察は全ての委員が出席)

行政視察報告

2月5日から6日にかけてNPO法人カタリバおよび東京都豊島区を視察してきました。

NPO法人カタリバ ～不登校支援について～

不登校児童生徒に対し、個別支援やアウトリーチ、福祉と教育の連携による居場所づくり、オンライン・メタバースを活用した支援など、多様な取組を展開しています。全ての子どもの成長を支えるため、継続的な支援が重要であると感じました。

東京都豊島区 ～ひきこもり支援について～

ひきこもり支援に特化した「ひきこもり相談窓口」を設置し、分かりやすい名称やプライバシーに配慮した環境で相談しやすさを高めています。また、専門職による情報発信やSNS活用に加え、地域活動や社会参加の機会を提供し、当事者が自分らしく社会と関わられるよう継続的な支援を行っているとのことでした。



▲東京都豊島区

議会活性化特別委員会

◎中川/○荒谷/植木/高橋/福永/上野/若林/一色 ◎委員長 ○副委員長

議会改革に関する検討項目、議会基本条例の検証、議会改革度調査2025、大聖寺実業高校との意見交換会などについて協議しました。

※1月9日、2月4日、2月20日、3月19日に委員会が開かれました。また、3月5日に広報部会が開かれました。(3月19日の委員会は、一色委員が欠席。そのほかの委員会は全ての委員が出席)
※委員のうち、広報部会は7名で構成されています。

行政視察報告

1月22日から23日にかけて、東京都文京区議会および一般社団法人Maniken^{マニケン}を視察してきました。

東京都文京区議会 ～AIを活用したリアルタイム字幕表示について～

令和5年7月に区議会内の懇談会にて「議会からの情報発信の在り方について」をテーマに検討し、リアルタイム字幕システム導入について検討が開始されました。検討の結果、令和6年9月の本会議からリアルタイム字幕配信を開始し、委員会では令和7年6月から字幕配信を開始したとのことでした。

システム導入後、視聴者からは「目で見える情報と耳で聞く情報の、双方向から情報が入るのでわかりやすかった」などの意見が多かったとのことでした。

システムの課題点としては、機器の性能が良いため、小さい声も拾ってしまうことが挙げられるとのことでした。

会議録への連携については、音声ファイルであれば取り込んで文字起こしは可能ですが、テキスト形式であるため、誰が話した内容なのかが分かりにくく、今は会議録への連携はしていないとのことでした。

一般社団法人Maniken^{マニケン} ～自治体議会におけるDXの取組の現状と将来展望について～

代表理事の中村 健先生から調査テーマについて説明を受けました。

DX化が求められている理由は、単なる効率化だけが目的ではなく、議会の役割を今の時代に適応させるために必要であるとのことでした。全国的な取組では、第1段階として業務効率化型、第2段階として議会広報などに活用する情報発信型、第3段階としてオンライン議会報告会やデジタル対話などの対話・参加型がありますが、今は第1段階が最も多く、第2、第3段階と順に少なくなる状況であるとのことでした。将来展望では、前段の第1段階から第3段階に変わっていくことで、議会は市民が「見に行く場」から、「関われる場」に変わっていくとのことでした。

加賀市議会においても、「市民から信頼される議会」へ進化するためにもDX化は必要であると感じました。

加賀五市議会議長会議員研修会に参加しました。

2月4日に加賀五市議会議長会議員研修会が開催されました。

加賀五市議会から65名の議員が参加し、「議員が注意すべきSNSのコンプライアンスについて」を学びました。全国の市議会などでの事例を参考に、議員個人が留意すべき事項の説明や、近年の選挙においては、有権者が得る情報源として、SNSやYouTubeの割合が急増していること、また、SNSなどへの投稿の際には、AIによる内容のチェックも有効な手段の一つであることなどが紹介されました。



あわら市議会・加賀市議会友好交流議員連盟令和7年度研修会を行いました。

2月12日に、あわら市議会・加賀市議会友好交流議員連盟の議員研修会を開催しました。

北陸信越運輸局観光部から、太田次長および長谷川国際観光次長を講師としてお招きし、北陸信越の観光の現状についてご講義いただきました。

訪日外国人旅行者いわゆるインバウンドの現状や、観光地・観光産業における人材不足やオーバーツーリズムによる課題などについて説明していただきました。



金沢大学法科大学院の講義を行いました。

1月19日に、金沢大学法科大学院のオンラインによる講義の講師として山口議長および中川副議長が参加し、学生に向けて加賀市の概要や加賀市スポーツ推進条例の制定経緯などについて講義を行いました。



6月 定例会のお知らせ

次の定例会は6月8日から6月25日までの18日間です。

- 6月 8日(月)10:00～ **本会議** 開会、市長提出議案説明
- 18日(木) 9:30～ **本会議** 質疑・一般質問
- 19日(金) 9:30～ **本会議** 質疑・一般質問、委員会付託
- 22日(月)10:00～ **委員会** 総務経済委員会(分科会)
- 23日(火)10:00～ **委員会** 教育民生委員会(分科会)
- 25日(木)10:00～ **委員会** 予算決算委員会
- 13:30～ **本会議** 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

傍聴者・読者の声を募集します

議会を傍聴してのご意見や議会だよりを読んだのご感想を、議会だよりで紹介していきます。皆さまからの多数の応募をお待ちしています。

応募方法

「氏名」と「連絡先」を記入し、見出しに「傍聴者・読者の声」と明記の上、下記の宛先まで応募ください。

※定例会・委員会の日程は、議会ホームページ、広報かがに掲載しています。

※詳しくは議会事務局までご連絡ください。



あて先

〒922-8622 加賀市大聖寺南町二丁目
TEL 0761-72-7965 FAX 0761-72-5305
E-mail gikai@city.kaga.lg.jp

編集後記

昨年10月の市長・市議選に続き、この2月・3月には衆院選・知事選と選挙が続きました。市民の皆さんの中には「選挙疲れ」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

12年ぶりの新市長、初の当初議会ということで、3月定例会の一般質問では大いに議論が交わされました。代表質問も長い間2人でしたが、今回から3人。どちらが良い悪いではなく、議場の空気は変わりました。市民の皆さんもぜひ、傍聴に来ていただければ幸いです。

K・A

議会活性化特別委員会広報部

部長 ● 荒谷 啓一

副部長 ● 一色 眞一

部員 ● 植木 陽祐 高橋菜見子

福永 哲也 上野 清隆

若林 高

アドバイザー ● 中川 敬雄

政治家の寄附行為は法律で禁止されています。

政治家の時代のあいさつ状・中元や歳暮・祭りや会合・各種大会への寄附などは、公職選挙法で禁止されています。有権者が求めてもいけません。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

点字・音訳版
「加賀市議会だより」を
知っていますか?

文字による情報を利用することが困難な人に、加賀市議会だよりの点字版・録音テープ版またはCD版を市内のボランティアの人たちが製作し、自宅へ郵送します。お問い合わせ 社会福祉協議会 72-1500 (担当:川崎・藤藤)

本誌は、見やすく読み間違えない
ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

UD
FONT